

第5期第2回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会 会議録

- 1 会議名 第5期第2回箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会
- 2 日時 平成27年(2015年)7月7日(火)午後3時～4時40分
- 3 場所 箕面市役所 本館3階 委員会室
- 4 出席者
 - (1) 委員
稲垣(千秋)委員、稲垣(勝伸)委員、大西委員、笠原委員、坂水委員、
照屋委員、遠井和委員、中堀委員、福井委員、三上委員、八木委員
 - (2) 箕面市
出水上下水道企業管理者、武藤上下水道局長、川添副部長、桃山副理事、
佐多副理事兼浄水室長、井口経営企画室長、村上水道工務室長、石橋下水道室長、
牧野経営企画室財務グループ長
 - (事務局) 上下水道局経営企画室
羽田総務グループ長、東本事務職員
- 5 傍聴人の数
2人
- 6 任命式
委員交代による任命書交付(1名)
- 7 出席委員及び職員の自己紹介
- 8 議事【会議要旨】
(会長が議事進行)
 - (1) 箕面市上下水道事業経営改革プランの進捗状況について
箕面市：資料1に基づき説明。
 - (2) 箕面市上下水道施設整備基本・実施計画況について(報告)
箕面市：資料2に基づき説明。

(3) 今後の審議内容及び開催予定について

箕面市：資料3に基づき説明。

《質疑応答》

委員

平均有収水量の減少の原因は何か？

箕面市

節水型機器の普及やペットボトルの飲用が増えていることなど。

委員

北急の延伸を見据え、まちを発展させる視点からも、逡増制のあり方をもう少し見直してはどうか。

箕面市

改訂後の料金体系については、今後の審議会で議論いただく。

委員

雨水面整備率が汚水人口普及率や水洗化率と比べて低いのはなぜか。

箕面市

田畑や家の建っていない調整区域は対象外となっているため。

委員

市街地雨水の整備の目安は？

箕面市

最大雨水量50mmを排水できることがひとつの目安である。

委員

法定耐用年数が設定されているが、一方で長寿命化計画が必要ともいわれている。実際はどうか。

箕面市

一応の目安としてはあるが、健全度推移曲線によると、45年経過後の管路・施設について、約88%が健全とされている。

委員

管の材質は今までどのように変わってきているか。

箕面市

本管は、昭和40年代前半までは鑄鉄管（CIP）で、それ以降はダクタイル鑄鉄管である。現在は、継ぎ手を改良したGX型ダクタイル鑄鉄管を使用しており、日本ダクタイル鉄管協会では100年の使用が期待できると言われている。給水管は昭和57年まで鉛管で、以降は塩化ビニル管である。

委員

料金は水道・下水トータルで考えるのか。別々に考えるのか。

箕面市

水道・下水はそれぞれ、地方公営企業法を適用し、会計は別々なので、料金も別々に考える。

委員

下水道料金について、雨水処理のことは考えなくてよいのか。

箕面市

会計的には汚水も雨水も両方含んでいるが、料金でまかなうのは汚水だけである。雨水は税金でまかなっている。